



日産合成工業株式会社 メールマガジン

2016・08・10 第116号



青葉の森公園（あおばのもりこうえん）は、千葉県千葉市中央区にある千葉県立の都市公園（広域公園）です。本公園は、我が国畜産技術研究の発祥の地として大正6年に設立された農林水産省畜産試験場が筑波に移転した跡地につくられ、1987年（昭和62年）に開園しました。公園北口駐車場そば、県立中央博物館のエントランスの近くの周回道路脇に「畜産技術研究発祥之地」の碑が建てられています（写真左）。副碑（写真右）には「大正五年四月六日農商務省畜産試験場が本省に創設され翌年六月一日この地千葉県千葉郡都村に於て我が国の畜産技術研究は発祥した。爾来七十年『千葉』は我が国の畜産試験研究機関の中心として常に畜産研究を先導し多くの輝かしい業績により畜産の発展に寄与してきた。昭和五十五年一月一日国立試験研究機関の筑波研究学園都市への移転に伴いこの地での研究を終えた『千葉』の畜産研究の栄光の不滅を念じ有志相集いここに記念の碑を刻む」と記載されています。

大正5年は1916年です。すなわち今年(2016年)は農商務省畜産試験場が設立されて100年目に当たります。今年中に何らかの記念式典が行われることと思います。

畜産試験場は、社会情勢の変化を受け、折々に組織改編が行われました。1950年の試験研究機関の整備統合によって、畜産試験場は、農業技術研究所家畜部、同畜産化学部ならびに関東東山農業試験場畜産部に分割されましたが、1961年に再び、統合編成されました。1970年には草地試験場が独立しましたが、畜産試験場が筑波研究学園都市に移転した後、国立研究機関の独立行政法人化に伴い、2001年に統合し、独立行政法人農業技術研究機構（現在は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）畜産草地研究所が発足しました。そして2016年4月から



は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門となりました。

創立以来100年間畜産技術研究は、組織の名称を変えながらも着実に実践され、家畜の改良、初生雛の雌雄鑑別法、日本飼養標準、人工授精技術、受精卵移植技術、通年サイレージ技術などの成果を創り、日本畜産の発展と日本国民の豊かな生活の実現に貢献しています。

さて、ニッサンメールマガジン第116号をお届けします。

平成 28 年の熊本地震農業被害からの復旧・復興のための参考技術情報について

農林水産省は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」という。）と協力し、平成 28 年の熊本地震で被災した農業現場が直面する作付計画の変更等の問題解決に活用できる技術情報を「平成 28 年の熊本地震農業被害からの復旧・復興のための参考技術情報」として取りまとめ、農研機構ホームページ内にて公開しています。

<http://www.s.affrc.go.jp/saigai/kumamotoh280617.htm>

北海道浜中町の若手酪農家 4 戸が MMJ に出荷

酪農家が生産した生乳は、酪農家から直接乳業メーカーに運ばれることもありますが、基本的にはタンクローリーで集乳されてから、乳業メーカーに運ばれます。代金（乳代）は、乳業メーカーから指定生乳生産者団体、単位農協を通じて支払われる仕組みになっています。この取引形態をとっている酪農家をインサイダー、指定生乳生産者団体を通じないで取引を行う酪農家をアウトサイダーといいます。アウトサイダーの酪農家は全体の約 4%程度です。

指定団体制度については、いろいろの議論がなされています。そのような中で北海道釧路管内浜中町の若手酪農家 4 戸が 7 月半ばに、指定団体制度に乗らない生乳販売会社「MMJ」（群馬県伊勢崎市）に生乳の出荷を開始しました。アウトサイダーになるということです。いずれも年間 1,000～2,000 トンの生乳を出荷している大型酪農家です。道内の MMJ 出荷農家はこれで計 14 戸となります。

アウトサイダーは生乳だけではなく飼料の購入など資材の調達、技術情報の収集も指定団体とは別ルートで行うこととなります。そして、全国的にアウトサイダーは増える傾向にあります。

今月は、ニッサン情報、酪農・豆知識を共にお休みいたします。

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用の PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社

のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いいたします。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QRコード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるようにQRコードを添付しました。

